

令和6年度 地域共生社会推進セミナー

～ 能登半島地震から考える 地域における役割とつながり ～

開催要項

1 開催趣旨

令和6年元日に発生した能登半島地震では、奥能登地域を中心に甚大な被害をもたらし、追い打ちをかけるように9月の記録的な大雨により、“二重被災”とも言われる厳しい状況となり、被災地の人々の生活再建に向けた復旧・復興活動は続いています。

こうした中、愛知県においては「南海トラフ地震臨時情報」が発令され、私たちの意識の中で巨大地震は現実味を帯びたものとなり、改めて災害に対する備えについて考える必要性が高まりました。

災害時には、地域の多様な組織や団体が連携し、互いの強みを活かしながら支援活動等に取り組むことが求められています。しかし、普段関わりのない組織や団体同士が、災害時に突然協力しあうことは簡単ではありません。

本セミナーでは、行政や社協、企業、社会福祉法人・社会福祉施設、ボランティア団体等の関係者が一堂に会し、能登半島地震の被災地の状況や見えてきた課題から、地域におけるつながりの大切さをあらためて考えるとともに、自分たちにどんな役割があるのか、また誰がどんな強みを持っているのかを知り、地域のあらゆる団体・住民が役割を持ち、支えあいながら活躍できる地域づくりについて一緒に考えます。

2 開催日時

令和7年1月8日（水）午後1時～午後5時

3 開催場所

アイリス愛知 2階 コスモス

4 主催

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会

5 後援(予定)

愛知県・名古屋市・中日新聞社会事業団・東海テレビ福祉文化事業団・NHK厚生文化事業団・公益社団法人日本青年会議所愛知ブロック協議会・愛知県経営者協会・愛知県商店街振興組合連合会・愛知県商工会議所連合会

6 参加対象

市町村行政職員、市町村社協職員、社会福祉法人・社会福祉施設関係者、自治会・町内会・商店街の代表者、社会貢献活動に関心のある企業、青年会議所、NPO・ボランティア・農協・生協・住民参加型在宅福祉サービス団体の関係者、学校教員・生徒 等

7 内容と日程

別表のとおり

8 参加定員

200人

9 参加費

1,000円

(当日受付にてお支払いください。おつりの無いようご協力をお願いします。) ※高校生は無料です。

10 参加申込

令和6年12月24日(火) までに、下記 Google フォーム(URL 若しくは QR コード) よりお申

込みください。原則 Google フォームからの申込み受付となります。



URL : <https://forms.gle/W9zoEQjXiX9jENCcA>

11 チラシ等の配架

セミナー当日、情報提供としまして、チラシ等の配架を行います。参加申込される方で、ご自身の所属や活動についてのPR チラシ等の配架をご希望される方は、参加申込書の「チラシ配架希望」の欄にご記入ください。

なお、チラシ等は、200部程度ご用意いただき、当日ご持参いただくか、事前郵送の場合は、1月6日(月)必着で、送料はご負担くださいますようお願いいたします。

12 個人情報の取り扱い

「参加申込書」に記載された個人情報は、参加者名簿(お名前、所属名、職名等、所属所在市村、所属所在地域、所属の種別記載)の作成及び運営管理の目的のみで使用し、他の目的で使用することはありません。

13 その他

- ・会場へお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。
- ・荒天により開催地において特別警戒警報、暴風警報のいずれかが本講座開始2時間前までに解除されていない場合、その他災害や感染症の流行等により開催が困難な場合は、本セミナーを延期または中止します。

荒天の場合の詳細については、愛知県社会福祉協議会ホームページの「荒天・災害時連絡ブログ」にてご確認ください。

URL <https://blog.goo.ne.jp/aichifukushi>

14 問い合わせ・申込み先

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 地域福祉部(岡本)

〒461-0011 名古屋市東区白壁一丁目50番地

TEL (052) 212-5502 FAX (052) 212-5503

メール chiiki@aichi-fukushi.or.jp

(会場案内) 会場へお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

【アイリス愛知】

〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-5-10

TEL 052-223-3751 FAX 052-223-3760



令和6年度 地域共生社会推進セミナー 日程表

開催日：令和7年1月8日（水）午後1時～午後5時

会場：アイリス愛知 2階コスモス

時間	次第	内容
12:00	受付	
13:00～	開会	開会あいさつ
13:10～ 14:10 (60分)	I 講演	<p>『あらためて考える 地域におけるつながりの大切さ』(仮題)</p> <p>【講師】 一般社団法人BIG UP石巻 代表理事 阿部 由紀 氏 能登半島地震で珠洲市への長期滞在・長期支援の経験や感じた課題を踏まえ、大規模災害と平常時からの地域におけるつながりの大切さについてご講演いただきます。</p>
(10分)	休憩	
14:20～ 15:50 (90分)	II シンポジウム	<p>『それぞれの立場から ～地域における役割とつながり方について考える～』</p> <p>社協、青年会議所、社会福祉施設それぞれの立場から、能登半島地震での被災状況や支援活動を通じて感じたことや課題についてお話いただき、そこから地域における役割や、平時からのつながりをどう作っていくかを一緒に考えます。</p> <p>【コーディネーター】 愛知県社協ボランティアセンター運営委員会 委員長 愛知県社協災害対応支援部会 部会長 鈴木 盈宏 氏 (特非)愛・地球博ボランティアセンター 顧問)</p> <p>【助言者】 (一社)BIG UP石巻 代表理事 阿部 由紀 氏 愛知県社協災害対応支援部会 副部会長 宝達 真志 氏 (社福)東海市社会福祉協議会 事務局次長兼地域福祉課長)</p> <p>【活動報告】(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(社福)珠洲市社会福祉協議会 主事 神徳 宏紀 氏 珠洲市社協における発災後の対応と課題 ●(公社)日本青年会議所東海地区愛知ブロック協議会 副会長 平野 伸弥 氏 被災地での活動報告(発災から活動までの経緯、活動内容)、活動からの気づき 協定締結と今後のつながり ●(社福)長寿会 第二長寿園(石川県珠洲市) 施設長 橋本 淳 氏 福祉施設の被災の状況と課題/必要な支援と地域とのつながり
(10分)	休憩	
16:00～ 16:50	III 交流会	<p>『災害時の教訓をふまえ、これからの具体的なアクションを考える』</p> <p>県内ブロック域ごとに分かれての話し合い(意見交換)の時間となります。 講演・シンポジウムの内容(石川県における災害時の取り組みや課題)を教訓とし、それぞれの地域で平時からどういったつながりや取り組みができるのかを話し合い、これからどういったアクションができるのか具体的に考えてみましょう。 災害時における多様な団体同士の連携やつながりを考えることは必要ですが、そのためにはまず平常時からどういった連携やつながりができるのかを考えることが重要となります。</p>
16:50～ 17:00	閉会	講師からのメッセージ/閉会あいさつ